

【結果公表】

令和3年3月15日

パブリックコメントの結果公表について

1. 計画案の名称 黒部市高齢者福祉計画
2. 計画案の公表日 令和3年2月8日（月）
3. 意見募集期間 令和3年2月8日（月）～令和3年3月10日（水）
4. 募集結果
 - (1) 提出者数 2人
 - (2) 提出方法 持参1人、ファクシミリ1人
 - (3) 意見総数 5件
5. パブリックコメントへの対応 別紙のとおり

黒部市高齢者福祉計画（案）へのパブリックコメント

No.	ページ	ご意見の内容	ご意見に対する考え方
1	37 94	フレイルとあわせて、サルコペニアについても用語解説してはどうか。	サルコペニアについても以下のとおり、用語解説に追加します。 サルコペニア 加齢や疾患により筋肉量が減少することで、全身の筋力低下および身体機能が低下した状態と定義されており、「加齢性筋力減弱現象」とも呼ばれている。
2	33-42	要支援・要介護になる前からの取り組みについて、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯には普及活動や指導内容が届きにくい、伝わりにくい場合もあり、こうした取組が行き届くようお願いしたい。	本計画をもととした取り組みを、高齢者の方に行き届くよう、民生委員・児童委員の皆様方や、地域で見守り活動をしていただいている方などのご協力を仰ぎながら、周知に努めてまいります。
3	全般	高齢者の区切りを65歳としているが、65歳になられた方は「自分はまだ若い」と思っておられる方が大部分である。また「高齢者」と呼ばれることは恥ずかしいと感じていると思う。このことから呼称を変えるか、または年齢基準を変えるなりすべきだと考える。	国連の世界保健機関（WHO）の定義では65歳上を高齢者としており、厚生労働省でも、高齢化率をはじめとした統計や施策などもこれに基づき作成されております。本計画も、これらの統計や施策などに基づき策定しておりますので、呼称や年齢基準を変更することはできません。しかしながら、様々な施策の運用にあたっては、市民の皆様方が抱く感情にも配慮し、進めてまいります。
4	17-28 74	リタイアした65歳以上の方々の中には豊富な知識・経験・技能を持った方がたくさんいる。これを有効に活用するためのシルバー人材センターかと思うが、すべての方が労働に対する代金を求めているわけでは	引き続き、高齢者の方のお考えなどを分析し、お持ちの能力や趣味の力を発揮できる場面が増えるよう、市商工観光課や、市生涯学習文化課など関係課と連携し、取り組みを進めてまいります。

		なく、このことがシルバー人材センターに足を向かわせない大きな要因かと思う。しかしながら、このまま活用しない手はなく、この力を生涯学習・生涯スポーツなどの趣味の方向と、包括支援センターを補佐する実働部隊に活用すべきと考える。	
5	74-75	包括支援センターの役割について、現状は相談業務中心だが、相談事を処理する実働部隊を包括支援センターの傘下に持ってほしい。相談事はあらゆる困りごとを含んでおり、法律や決まり事を超えて処理してくれることを願って相談に来ておられる。実際に処理できる部署がないと絵にかいた餅になる。「なんでもすぐやる課」的な発想が必要だと思う。	<p>現在でも、黒部市地域包括支援センターでは、相談受付をし、その中で必要に応じて外部の組織と連携しながら、対応しているところですが、今後も迅速に対応できるよう努めてまいります。</p> <p>とりわけ行政においては法律を超えて処理することはできませんが、自助や共助を重点的に行う社会福祉協議会では、近隣による助け合いやボランティア等による支援が期待できる場所があります。相談の処理に関しましては、必要に応じ黒部市社会福祉協議会とも連携し取り組んでまいります。</p> <p>なお、高齢者福祉計画の施策については以下のとおり加筆します。(下線部加筆)</p> <p>・複雑・困難な相談に対しては<u>黒部市社会福祉協議会</u>をはじめ<u>関係機関</u>との情報を共有化し、連携を密にし対応に努めます。</p>